



美谷 芳昭

町民に夢と希望を与える施策の実現に向けて

山口町長の今期最後の予算編成にあたり、子どもから高齢者の方々まで夢と希望を与える施策の実現に向けて、次の提言をした。

次に、固定資産税の減免や、出産・入学祝い金また、給食費の無償化等は、財源確保や費用対効果を検証し、総合戦略の中で具体化する。

児童公園の整備は、平成31年度までに東・西各一カ所を整備する目標である。

子どものインフルエンザ予防接種の補助は困難だが、医療費無償の年齢拡大については、他市町村の状況を踏まえ検討したい。

問 若者や子育て世代の施策として、若者の就労の場の確保のための企業誘致、若者が家屋を増改築した場合の固定資産税減免制度の創設、出産・入学祝い金の創設、また小中学生の給食費の無償化、乳幼児や児童生徒のインフルエンザ予防接種時の補助金の創設、医療費無償制度を現行15歳から18歳まで延長、町内に児童公園新設等の対策をし、若者を増加させるべきであるが、見解は。

答 若者の就労の場の確保は、重要な施策であると認識しており、今後誘致に向けた優遇策を検討する。

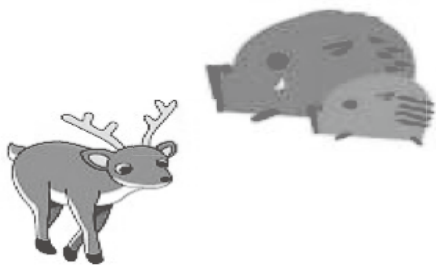
問 高齢者の施策として、敬老会の参加人数が減少傾向にあるので、現行の「ふれあいフェスタ」と切り離し、「高齢者お楽しみフェスティバル」と合体させて開催してはどうか。

答 今後は、敬老会や高齢者お楽しみフェスティバルのあり方について、検討、協議を重ね、多く

の高齢者の方々に楽しんでいただけるイベントを構築したい。

問 農業従事者の悲願である有害鳥獣対策として、早期に猪・鹿の解体処理場と焼却処理場を整備すべきであるが、見解は。

答 解体処理場建設及び食材の有効活用については、直ちに解決は困難だが、国・府の補助金や処分場用地の確保等条件が整えば是非取り組みたい。



一般質問



福中 満

一、6次産業化支援について 二、新学校のアフタースクールについて

6次産業化支援について

問 本町の豊かな農産物を活用した加工品の製造・販売（6次産業）の振興育成は重要な課題だが、町行政としての認識と今後の支援対策はどうか。

答 地域資源を活用した新たな産業を創出する6次産業支援事業については生産・加工・販売を一貫して実施することは大きな課題である。

能勢町農産物加工連絡協議会は、平成12年5月に能勢町観光物産センターの開業を機に、町内の複数の加工団体により



物産センターに並ぶ能勢オリジナル

共同で設立された。現在6つの団体が地域の農産物を利用した加工品を製造されている。今後の課題としては、調理設備の更新が必要になっていく。また現在製造所は歌垣地区にあるが、他の場所での新たな製造施設についても協議していきたい。さらに後継者の育成も今後の大きな課題である。

本年度より、新規性・独創性のあるビジネスプランを有する農業者や企業を発掘するとともに、地域の新たなビジネスへの支援事業を実施していきたい。



完成間近のささゆり学園

新学校のアフタースクールについて

問 新学校の特筆すべき取組みの一つとしてアフタースクールがある。その目的や内容はどのようなものか。

答 放課後や長期休業中に、子どもたちが自分でやりたい活動を選び自己実現する場とする。また異学年を含む友達と一緒に活動に取組み、地域の方々との出会いや活動を通して、地域とのつながりを理解できる人になってほしい。

具体的内容としては一輪車・和太鼓・ものづくり・浄瑠璃など、地域性を活かした内容も予定している。

学習面では学習支援員を配置し、小学生対象に「自主学習室」を、中学生には「自立学習室」をほぼ毎日開設し、個々に必要な学習の場を提供したい。